

# Smart Cabinet/Hospital

紙カルテをかたづける「電子倉庫」導入事例

## 公立丹南病院（福井県・鯖江市）



開設年 平成12年2月  
診療科目: 14診療科  
病床199床(うち療養病床41床)  
病院長: 白崎信二  
〒916-8515  
福井県鯖江市三六町1-2-31  
Tel: 0778-51-2260 Fax: 0778-52-8620  
<http://www.tannan-hp.jp>  
E-mail: [info@tannan-hp.jp](mailto:info@tannan-hp.jp)

「今までカルテ庫で眠っていた、紙カルテの情報を、生きた診療情報として活用する」

公立丹南病院様は、めがねの産地で有名な福井県鯖江市にあり、2000年2月に国立病院統廃合が進む中で、旧国立鯖江病院より公立丹南病院組合が移譲を受け、社団法人地域医療振興協会に管理委託されてきた病院です。

地域に密着した、地域住民の為に「保健・医療・福祉を一体とした包括的医療の実践」を基本理念とし、丹南地域の中核病院としての役割を担ってきました。

### 導入のきっかけ

2000年2月1日。

国立鯖江病院様は、「公立丹南病院」として生まれ変わりました。

以来、丹南地域の中核病院としての役割を担い「保健・医療・福祉を一体とした包括的医療の実践」を基本理念に日々地域医療の拡大・発展に取り組んでおられます。

明るく開けた敷地内に建つ主病棟は14診療科199床の規模を持ち、まさに患者様に愛され信頼される病院といった佇まいです。

しかし、公立丹南病院様では、移行時には予期しなかった問題に直面してしまいました。

ご利用される患者様の増加により、当初の予想以上に紙のカルテが増加し、新病院移行の際に増設されたカルテ保管庫が、今年度中には収納不可能となってしまう危機的状况となってしまいました。

現在はオーダーリングシステムが稼働しており、さらに平成18年4月からは電子カルテの導入が始まり、今後は紙ベースのカルテの発生は減少していくと予想されます。

しかし、現在保有している紙のカルテの今後の保管をどうするのか、保管だけでなく診療情報として有効に活用していくにはどうしたらいいのか、という命題に取り組まれたとき、「紙の診療録の電子化による運用」という選択肢を検討される事になりました。

### 導入システムご紹介

「電子カルテからも紙カルテの情報を参照したい」

「法定保管期間5年を過ぎ電子化が終わった紙カルテは廃棄して保管スペースを確保したい」

ご希望を叶えるべく選択をいただいたのは、

「SmartCabinetシステム」と「カルテ電子化突貫工事」でした。

紙の診療録は「文書情報管理士」資格取得の専門スタッフにより適切に指導・管理された環境で電子データになります。

作業にはKODAK社のフルカラー高速両面スキャナを用い、高い品質の電子画像を実現します。

また、MEDIS-DC社により作成された「電子化運用管理規定」により、電子化・保管・廃棄までの一連の業務をPDCAサイクルとして継続運用していきます。

電子化後の運用は、コスミック社の電子カルテと連携し、100クライアントからなる院内ネットワーク内の端末から瞬時に検索・閲覧する事が可能です。

また、アカウント管理・ログ管理に基づいた情報セキュリティ対策も万全です。

### お客様より一言

「紙カルテの法定保存年限は5年ですが、個人の診療記録として一生にわたって保存すべきであるとの考えの下、永久保存を院内で規定しているところも医療機関では多く見受けられます。しかし、日々増えつづける紙カルテは、限りある院内の保管スペースを圧迫し、膨大なカルテの中から必要なものを探し出すのが困難な作業となっています」

「紙カルテを電子化した場合、その保管に伴う管理費用の削減やスペースの有効活用ができます。また、紙カルテを探し出し、配送するといった人的作業がなくなり、業務の効率化も図れます」

「電子カルテシステムやオーダーリングとの連携により、検索や閲覧が容易になり、カルテ庫に眠っていた紙カルテを生きた診療情報として活用できます」

「また、最近話題となっている『カルテ開示』への対応も迅速に行う事ができるという効果も期待しています」

公立丹南病院 事務部 医療情報係長 浜野様談

# 紙カルテが電子化されるまで ——システムの概要図——



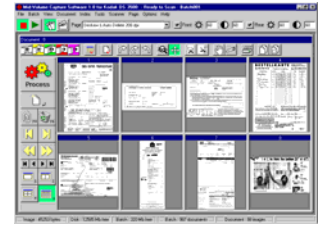
専門スタッフがカルテ・検査表  
仕分け作業を行います。

Kodak社製



高速両面カラーキャナーで  
瞬時に電子化されます。

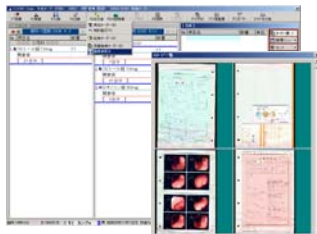
キャプチャーソフト



自動傾き補正や枠切りを行い、  
サイズの違う検査票やエコー写真、  
経年劣化したカルテも、都度確認  
しながら電子化できます。

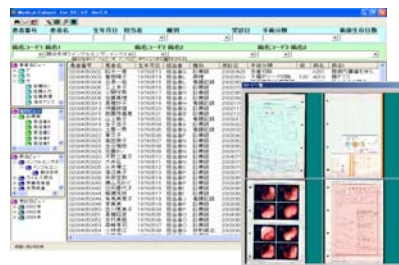


コスミック社オーダーリングシステムと連携



オーダーリングや電子カルテシステムと連動し  
過去の紙カルテのイメージ画像を参照できます。

Smart Cabinet 検索画面



クリニカルパス等で検索・絞込みが可能です。

カルテ保管  
ファイルサーバー



4TB RAID5ディスク

## 導入メリット

### ■既存病院情報システムと連携可能

・コスミック社オーダーリング・電子カルテシステムとの連携が可能です。  
オーダーリング・電子カルテ画面から過去カルテが参照できます。

### ■簡単操作・瞬時検索

・既存の病院情報システムの「カルテ参照」ボタンを押すだけ。  
瞬時に参照中の患者様の過去カルテデータが表示されます。  
ページ捲りも高速で、検索効率が格段に上がります。

### ■保管スペース削減

・紙のカルテが保管されていたスペースが削減でき、有効活用ができます。

### ■個人情報保護

・MEDIS-DC作成の運用規定に準拠した手順で電子化・運用を行い、  
個人情報の保護・情報漏洩の対策を行います。

#### ■運用管理規定作成支援サービス

財団法人医療情報システム開発センター  
(MEDIS-DC)  
〒113-0024 東京都文京区西片1丁目17番8号  
KSEビル3F  
<http://www.medis.or.jp/>

#### ■電子カルテ・オーダーリングシステム

コスミック株式会社  
〒550-0002 大阪府大阪市西区江戸堀2丁目6番33号  
電話:06-6447-1901(代表) FAX:06-6444-6429  
<http://www.cosmic.co.jp/>

### お問い合わせ

Smart Cabinet開発/カルテ電子化突貫工事サービス  
株式会社エヌ・エス・エム/株式会社アクセルビューテクノロジー  
愛知県名古屋市中川区尾頭橋4-13-7nabi金山303号室  
電話:052-339-3295 FAX:052-339-3294  
メール:[info@nsmedia.co.jp](mailto:info@nsmedia.co.jp)  
URL:[www.nsmedia.co.jp](http://www.nsmedia.co.jp)

### 販売パートナー